

令和3年度 龍郷町 地域ぐるみ 青少年 育成事業

第1回 開講式・あまみにひそむエイリアン

日時: 令和3年6月19日(土) 9:00 ~ 12:00

場所: 龍郷町体育・文化センター りゅうゆう館 アリーナ / あまみ農協本部横の空き地

講師: 環境省 奄美野生生物保護センター 自然保護官補佐 池上 温人 さん

参加者: 児童・生徒 42名, 未就学児 5名, 保護者 22名, 来賓・教諭 14名 計 69名



今回のバッチはハブでした!

外来種被害を防止するための三原則

入れない・捨てない・拡げない

みんなで一緒に守りましょう!



実際に固有種の標本に触れたり, 身近にいる外来種を駆除したりしました。

また, 中央グラウンドに生えているメリケントキンソウは, 種が硬く手足に刺さるとけがをするおそれがあるので気をつけましょう。

今年度の子ども博物学士講座がはじまりました。第1回の講座は今年7月に奄美群島・沖縄の世界自然遺産登録が決まりそうだということで, 奄美野生生物保護センターの池上先生をお招きして外来種をテーマに実施しました。奄美大島にいる外来種について学ぶことができ, 暑い中でしたが実際に外来種の駆除も体験しました。

国道をはさんでりゅうがく館の向かいにある, 農協本部横の空き地には, きれいな黄色の花が咲いていましたが, その花が在来植物に悪い影響を与える緊急対策外来種のアメリカハマグルマでした。みんなで保護者の方と一緒に駆除作業を行ったことで, ゴミ袋約10個分の外来種を駆除出来ました。

龍郷小学校4年生の内野 灯さんは「今までマンガースなどの外来種は固有種を食べる悪い動物だと思っていたが, もともと人間が持ち込んだので人間も悪い」ことが分かったそうです。大勝小学校6年生の高 優一郎さんは「外来種を駆除するのも大変ですが, 生物の命も大切だ」と気づいたそうです。

今回学んだことや体験したことをもとに, 身近にいる外来種の存在に注意して, 自分たちにできることから実践して行きましょう!